



4歳児 「くさのごはんをたべている キリンさん」



令和7年(2025)年度
豊かな心と生きる力をはぐくむ
大津幼稚園作品展
大津市立大津幼稚園



5歳児 「だいすきな ひきやま」



3歳児 「でんしゃにのったよ」



5歳児 「フラミンゴのダンス」



きらきら いちごぐみつうしん

令和7年11月

大津市立大津幼稚園

いちご組 金田 和美

27日から「作品展」が始まります!子どもたちにとって、大好きなお家の人に自分の遊んだものや絵を見てもらい、話を聞いてもらえる時間、褒めてももらえる時間は、とても嬉しいひと時となることだと思います。

いちご組の子どもたちは、「バス飾れる!」「ウサギちゃんにするー」「楽しかった電車の絵にする!」と毎日楽しくつくり描いたりした大切な物を飾りたいなど話していました。初めての幼稚園でつくったり描いたり楽しんできた作品をご覧いただき、ご家族でゆっくりとお話をしながら、子どもたちの“ワクワク”を想像したり一緒に楽しんだりしていただけたら嬉しいです。

平面作品

1学期から、「楽しい」「面白い」「もっとしたい」という子どもたちのやりたい気持ちを大切にして、伸び伸びと自由に思いを表す楽しさを感じて欲しいと願って、表現活動に思う存分楽しめるよう取り組んできました。

2学期からは丸をたくさん描くことが楽しくなってきたり、目と口を描いて顔ができたり、手や足ができたり…。

ぐるぐる腕を大きく動かして描く楽しさ、色や形から見立てる楽しさ、先生や友達と一緒に描く楽しさなど、幼稚園で初めて経験する絵画活動の中で様々な楽しさを感じられるよう取り組んできました。作品展では、見たり経験したりしたことを描いた絵や、絵本を読んで心に残った場面を描いた絵を飾っています。筆やバスをピューンと楽しく紙に走らせたり、「こうしよう!」「こう見えた!」というひらめきがたくさん詰まった作品になったりしています。「こんなこと思ったの?」「ここ、描きたかったの」と子どもたちが楽しんで表現している様子を思い浮かべながらご覧ください。

立体作品

日頃から空き箱や自然物などの材料を沢山ご提供いただき、ありがとうございます。空き箱や粘土、自然物、砂など、身近な素材に触れて遊んできました。自分で選び、いろいろな組み合わせを楽しみながら遊びながら、一人一人の感じ方や表現を大切にしてきました。これからも、4・5歳児の姿に刺激をもらい憧れを抱きながら、「つくれて遊ぶの楽しいな」と感じる経験を重ねていきたいと思います。

紙の素材を使って…

最初は、空き箱や紙コップを使って、重ねたり積み上げたり並べたりして遊ぶことを楽しんできました。遊んでいる内に組み立てたものをくっつけてみたいという思いが出てきて、セロハンテープでの接着を楽しむようになりました。「いちご組のセロハンテープは「魔法のゾウさんテープ!」「ゾウさんの鼻のように動かすと切れる!」と毎日繰り返す中で、上手く切れたり貼れたりできるようになりました。テープを使うようになると動物や乗り物などに見立てて大変身。空き箱やロール芯、紙袋、色画用紙や包装紙など、接着しやすい紙の素材を基本としています。テープやのりで貼ったり描いたりしながらイメージを広げてきました。

3歳児は、「をつくろう」という明確な目的はないことが多い、「これとこれをくっつけてみよう」と組み合わせてつくっている内にいろいろなものに見えてくる時期です。「見立て遊び」がとても面白く、次々に「~みたい」と話してくれます。また、みんなで電車に乗って親子遠足に出掛けた後、箱をつなげて電車をつくり、お家のの人や友達、先生が乗るという発想も湧き出てくるようになりました。楽しかった体験がつくって遊ぶ姿に表れたり、つくった動物を大切そうに抱っこしたり、お世話したり、一緒に散歩に行ったり…。つくったものでたくさん遊んできました。作品から、子どもたちが楽しく遊んでいる声が聞こえてきそうですね。

紙粘土や自然物を使って…

1学期は、油粘土遊びを楽しみ、2学期は、また違った感触の固まる紙粘土を使って、こねたり丸めたりちぎったりして遊び、好きな形のケーキづくりも楽しみました。

砂のケーキづくりも大好きないちご組の子どもたちは、みんな大喜び!スポンジの土台ができると、どんぐり、松ぼっくり、南天の実、千日紅…など、様々な自然物の中から好きな物を選んで、飾り付けをしました。いろいろなフルーツや顔などに見立てて、一人一人違うお洒落なケーキになりました。大事にしいてるウサギちゃんやネコちゃんと一緒にパーティーをして食べさせてあげることも楽しんできましたよ。

木片を使って…

最初は、いろいろな木の中から使いたい木を選んで、積み木のように積んだり並べたりして遊びました。つくっては崩し、またつくって…を繰り返すうちに「お家ができた」「船だよ」とイメージをどんどん膨らませながらつくりました。白いクリームが固まると透明になるボンドにも興味津々で、楽しそうにくっつけました。可愛いフェルトや、布、ボタンを付けることを楽しむ姿もあり、個性豊かな作品が出来ました。真剣な表情でつくっている姿がとても素敵でした。

3歳児いちご組



はなぐみだより

No.11

2025年11月
大津市立大津幼稚園
福島 由佳里

いよいよ27日から「作品展」が始まります!これまでな組で遊んできた経験から、「これをつくりたい!」という思いが溢れました。どの作品もはな組らしい面白い、可愛いアイデアがいっぱい!じっくり見れば見るほど子どもたちの素敵なお遊びの世界に引き込まれるものばかりです。作品の大きさは人それぞれですが、その作品に込められた思いの大きさはみんな同じです。大きさではなく、作品から聞こえてくる子どもたちの声に耳を傾けながら、じっくりとご覧いただけたと嬉しいです。今回は「直前号」ということで、日頃子どもたちが楽しんでつくってきた姿、つくったもので遊ぶ微笑ましい姿などをお届けできればと思います。お家からも廃材や自然物など、たくさんの材料を提供いただきありがとうございました。ぜひ、会場でも「いろいろな材料をこのように使ったんだな!」と普段子どもたちが遊ぶ姿を想像しながらご覧くださいね。

平面作品(描画)

これまでパスやペン、絵の具などを使って「お芋掘り」や「運動会」など、幼稚園で体験したことを元に絵を描いたり、絵本のお話からイメージを広げて表現したりすることを楽しんできました。同じ題材でも表したいことが一人一人違う、一つの絵からオリジナルのお話が広がっていく子どもたちです。そのオリジナルのストーリーを一人ずつ聞く時間が私は大好きです。自分なりに思いを込めて、楽しんで表現した絵を、ぜひ一枚一枚じっくりご覧いただけたと嬉しいです。子どもたちのつくったお話の世界に入り込んでみてくださいね。

立体作品

これまで戸外遊びでは、砂や自然物などを使ってごちそうをつくったり、砂場で山や穴をつくったり...いろいろな「つくる」を楽しんできました。その経験があるからこそ、今の「つくるって面白い!」の姿につながっているのだと感じています。そんな子どもたちは、つくって終わではなく、つくっては遊び、遊んではつくるというように、「つくりながら遊ぶ」姿が沢山見られました。そんな姿を思い浮かべながらご覧いただけたと嬉しいです。

『空き箱や画用紙などを使って...』(森のパン屋さん・人形・楽器など)

これまで空き箱やカップなどいろいろな素材を使って、自分で選んで組み合わせてつくることを楽しんできた子どもたち。組み合わせる面白さを感じる中で、「どうやったらテープがしっかり付くか」貼る向きや貼り方に気を付けたり、「ネコの顔がよく見えるためには...」「本物のパンみたいにするには...」など、どうしたらよいか考えたりと、より素敵なものをつくりたいという気持ちが膨らむと同時に考える力が付いてきたように思います。そんな子どもたちの工夫やこだわりをじっくりとご覧いただけたと嬉しいです。

『木片や秋の自然物を使って...』 (お家・人形・ケーキなど)

いろいろな素材に触れて遊ぶ楽しさを知ってほしいと願い、木片や秋の自然物を使って遊び始めました。これらはテープやのりではくつかないことを伝え、初めて「ボンド」を使ってみることにしました。初めは慣れないボンドに苦戦する姿もありましたが、日に日に付け方や付ける量を考えられるようになってきました。「乾いたかな?」と昨日つくったものを、登園してすぐに見に行ったり、「まだ乾いてないからそっと...」とつくる過程も楽しむ姿が素敵だと感じていました。1日では完成しないボンドを使った作品だからこそ、「続き」の楽しさや出来上がった時の喜びを味わうことができたように思います。もみがらを使った人形や美味しいようなケーキ、虫のお家など、自然物のよさを生かした温かい作品になっていると思います。

『はなぐみステージショー』

音楽に合わせて歌って踊ったり、楽器を鳴らしたりすることが大好きな子どもたち。ある日から、「お客様に来てほしい!」という思いから「ショー」が始まりました!自己紹介から始まり、客席まで出てきてハイタッチができるパフォーマンスを取り入れたり、終わった後は握手ができるサービスをしたり。自分たちが楽しいことはもちろんですが、お客様に楽しんでほしいという思いも日に日に増えてきて、ステージショーの内容がどんどん変化してきました。その中で、好きなブリキュアになりきったり、ドレスや指輪などアクセサリーをつけておしゃれに変身したりすることも楽しんできました。楽器や衣装などを飾っていますので、ぜひ普段それを使って「ステージショー」を楽しんでいる姿を想像してご覧ください。楽しい音楽とともに、子どもたちの元気いっぱいの歌声や楽器の音が聴こえてきそうですよ。

4歳児はな組



いよいよ作品展がはじまります！

子どもたちが楽しみにしている作品展がいよいよ始まります。これまで3・4歳児で経験してきたことを生かして、自分のつくりたいもの、描きたいものにぴったりの材料や方法（技法）、接着方法などを考えたり、試したり工夫したりして取り組んできました。5歳児になってから新たな素材、道具、描画材料や技法にも出会い、さらに思い描いたことを実現する楽しさを感じることを大切にしてきました。昨年度の5歳児の姿に憧れをもちイメージを広げ、友達と一緒に力を合わせたからこそ「できた」という気持ち、お互いのことを認め合う気持ちなど、いろいろな思いを経験しながら楽しんできたので、それぞれの作品のこだわりや頑張りポイントを見つけてもらえたと思います。

平面作品

絵の具やサインペン、コンテ、墨など使って表現することを楽しんできました。お話の世界からイメージを膨らませ「すてきな三にんぐみ」や「もみの木」、経験したことを基にお芋掘り、曳山乗山、動物園など描きました。描いている途中で、「これは〇でね～、それでね…」と話したり、一緒に描いている友達の絵を見て「こんな風に描くと面白いな」や「〇〇ちゃんの 楽しそう～！」と友達の作品にも心を寄せたりする姿がありました。一人一人の表現の仕方はいろいろあり、「こんなことを思いながら描いたのかな？」と想像しながらご覧ください。

立体作品

曳山「のはら鯉釣り山」「湯立山」

「湯立山」に乗らせていただいた経験から、自分の曳山をつくりたり、「もっと本物みたいな大きな山をつくりたい」という気持ちをもったりして「のはら鯉釣り山」や「湯立山」の山建てが始まりました。

「龍門滝山のからくりの鯉」の由来は「僕たちのって分かるように‘のはら’も入れよ!」「大きい玉がいるな」と相談して決めました。イメージはあるけれどなかなか実現できず、教師も仲間に加わり子どもたちのイメージを整理して友達と相談できるように支えてきました。曳山の仕組みに着目して、柱の造りや見送り幕の模様の違いにこだわってつくり進めました。つくる過程で「ここ持っててね！」と声を掛け合い協力する姿も見られるようになりました。「からくり人形も乗せたい」という思いから、鯉のからくり人形をつくりました。「本当に水が流れるような仕掛けにしたい」とアイディアを出し合いつくりました。19日（水）から巡行を開始して、廊下で

曳き回しを楽しんできました

世界に一つだけの曳山

自分の使いたい材料を選んで様々な素材で曳山をつくりました。いろいろな形の木片や空き箱を手に取り並べたり積んだりしていると、「ここお囃子の人が乗るところ!」「柵が必要!鉦もいるな!」と遊びながらイメージを広げつくり進めてきました。

木工の製作では、グラグラ揺れる釘を指で支え、重たい金槌でトントン打ち込むと、「おお」と思わず声がもれます。何度も繰り返すうちにコツを掴み、友達に「こうやってやるとうまいくよ」や「支えてあげるからやってごらん」と友達に伝授する楽しさを感じました。やり直した跡もありますがそれは考えた跡です♪そこもご覧ください。

宇宙の家で大冒険

「ロケットつくりたい」「空飛んでみたい!」とイメージを湧かせ、絵本や図鑑を見て友達と「人工衛星!宇宙からみんな見てるんやで。」、「発射のための台に本物みたいな煙付けよ!」「モールくるくるしたら、アンテナになった!」など友達と話をしながら自分のオリジナルのロケットをつくることを楽しんできました。接着用具を工夫して壊れにくい頑丈なロケットが出来上がりましたよ!ほら…カウントダウンが聞こえてきそうです。宇宙旅行をお楽しみください!

おまつりごっこ

大津祭の屋台で食べた焼きそばやりんご飴、パイン飴、たこ焼きを「本物そっくりにつくって売りたい」という気持ちから始まつたお店屋さん。用意を進め、仲間と沢山相談をしたり役割分担をしたりして、やっとオープンすることができました。すると早速はな組やいちご組が買いに来てくれ、「たこ焼き美味しかったです!」、「お代わりください」と店は大繁盛!つくり方の苦労話を、お子さんに聞きながらご覧ください。

すてきなお家

空き箱や木片等の様々な材料の中から自分で選んで、素敵なお家をつくりました。「三階建ての家」や「ネコちゃんのお家」「私の家」など友達と話をしながらどんどんイメージを膨らませました。空き箱に布を巻いて本当のベットのようにしたり、細かい飾り付けをしたりしてこだわりが沢山詰まっています。セロテープやボンドなど用途に合わせて使い分け、「どうやってつくったの?」と尋ね、友達の姿から刺激を受けて素敵になってきました。自分や動物の人形などかわいらしい表情の住人に会いに来てくださいね!

5歳児のはら組



子どもの思いの実現のために…

「豊かな心と生きる力をはぐくむ」

子ども達は、幼稚園で様々なものやこと、人と出会い、いろいろな気付きや面白さ、不思議さ、楽しさを沢山感じながら生活しています。遊びやクラス活動を通して、つくりたり描いたりすることを繰り返し楽しんできました。心搖れ動く体験を積み重ねながら、表現する楽しさを感じられる活動に取り組んでいます。幼児期ならではの豊かな感性と表現がいっぱい詰まった『子どもの世界』をお楽しみください。

教育目標

- *自分で考え動き出す子ども
- *夢中になって遊びこむ子ども
- *心も体もたくましい子ども
- *自分も相手も大切にする子ども



未就園児親子活動 作品紹介

親子の触れ合いを楽しみながら発達に応じた遊びや幼稚園ならではの遊びを楽しんでいます。

【たんぽぽクラブ（0～3歳児親子）毎週火曜日】

「たんぽぽちゃんの親子」…落ち葉にペンやパスでぐるぐるしたり、素敵なお模様になりました。親子で手形のスタンプしたら、お洋服に変身したね。



【ことりクラブ（2・3歳児親子）毎週木曜日】

「ことりちゃんのお家・車」…お家の人が段ボールにボンドを塗った上にどんぐり、まつぼっくり等の木の実や葉っぱを並べたよ。秋を色々な自然物に触れ、秋を感じながら遊んだね。



【おひさま広場（0～3歳児親子）月・水・金曜日】

園舎と体育館の間の砂場に遊べる広場を開催中

困った時が『学びどき』

子どもの主体性を育むために「自分で選び、自分で決める」「思いの実現」を大切にしています。いろいろな場面で選べる環境、先生の「どうしたい?」という問い合わせにより、自分で考える楽しさを感じ、もっと楽しくしたいと意欲を湧かす経験を重ねています。時には、「～したいけれど、うまくいかない」こともあります。そんな時こそ、試行錯誤したり、友達や先生と力を合わせたりして、諦めずに乗り越えるチャンスです。

また、自分の経験を友達に分かるように伝える時が「経験が確かな学び」になる瞬間でもあります。遊びを通して様々なことを学んでいる様子を作品から感じ取っていただけたと幸いです。

